

- 第2回みどりの区民会議 -

練馬のみどりの将来像と目標の あり方について

平成29年3月16日(木)

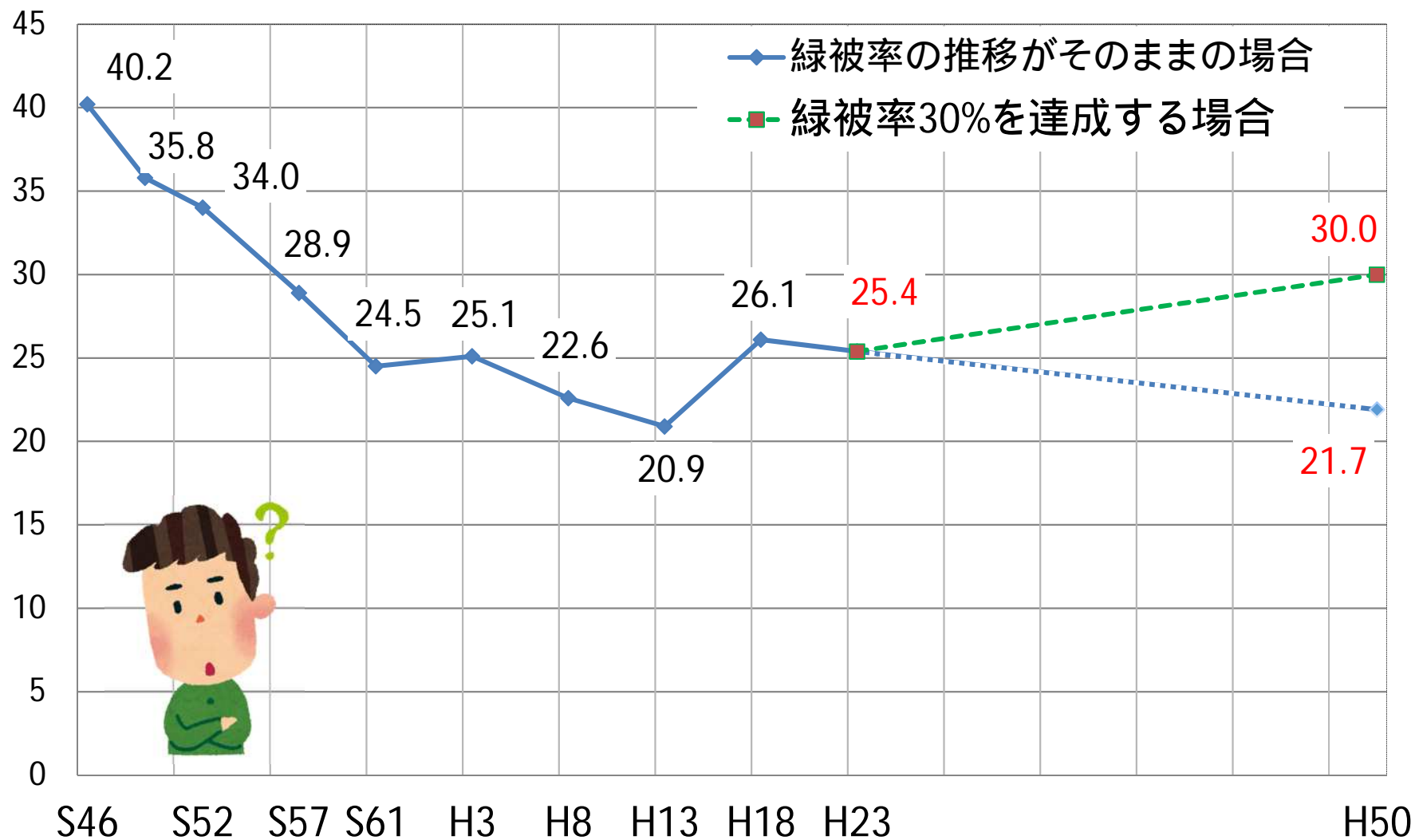
練馬区みどり推進課

緑の基本計画って何？

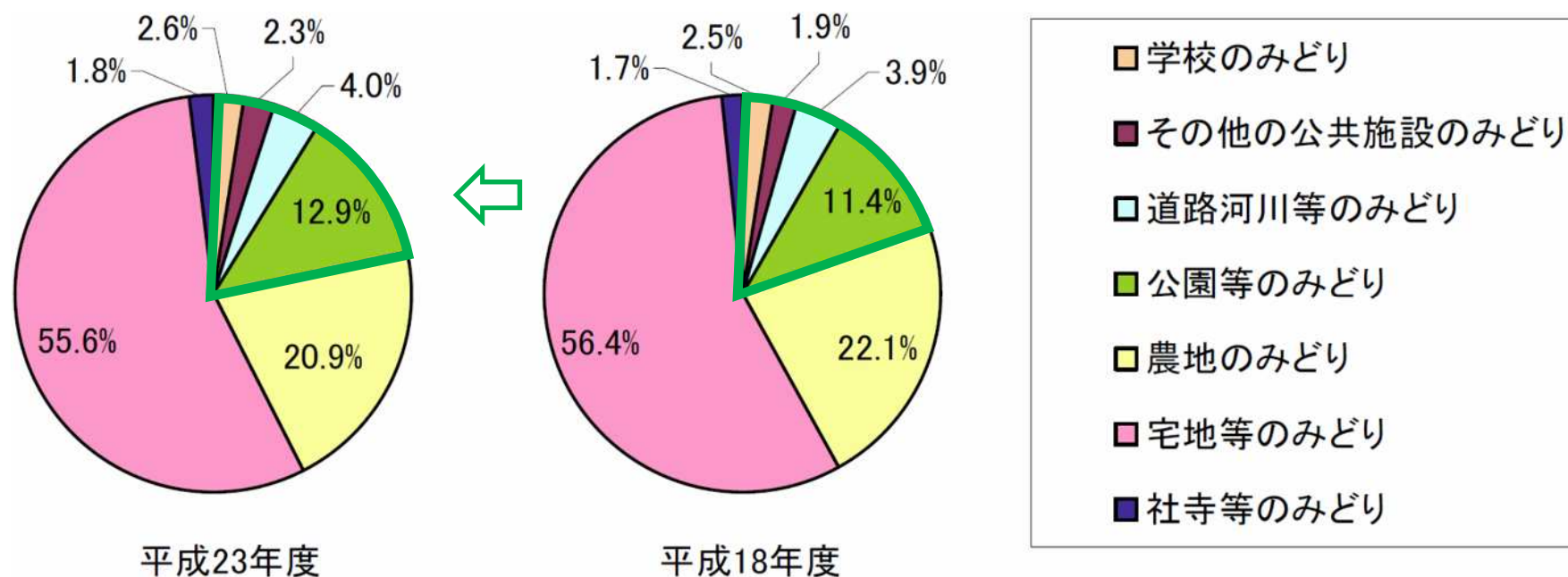


- 市区町村が緑地保全や緑化推進に関して、その将来像、目標、施策などを定める法定計画(都市緑地法)
- 現行の「練馬区みどりの基本計画」は、平成21年1月に策定

練馬区における緑被率の推移・予測

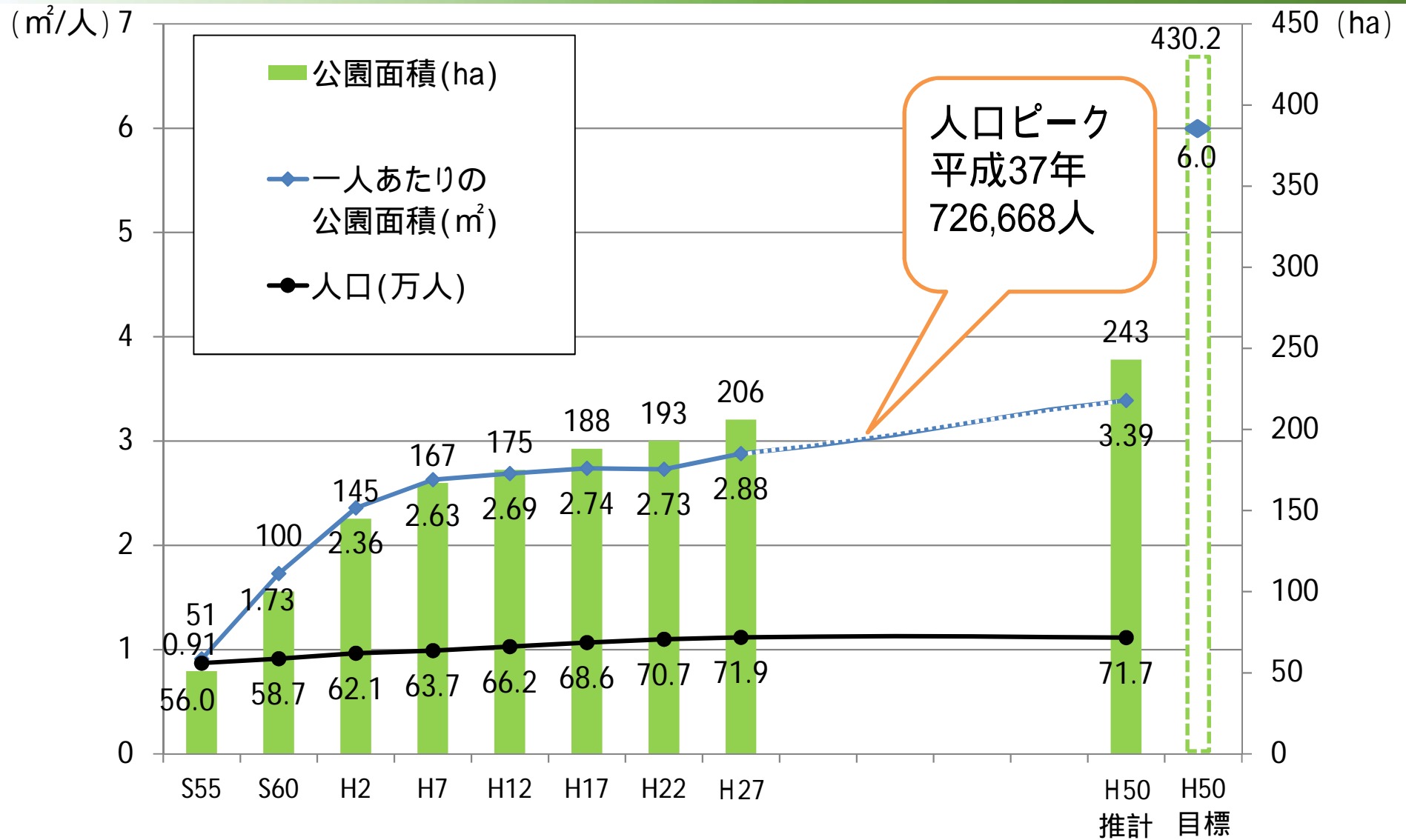


緑被率の内訳

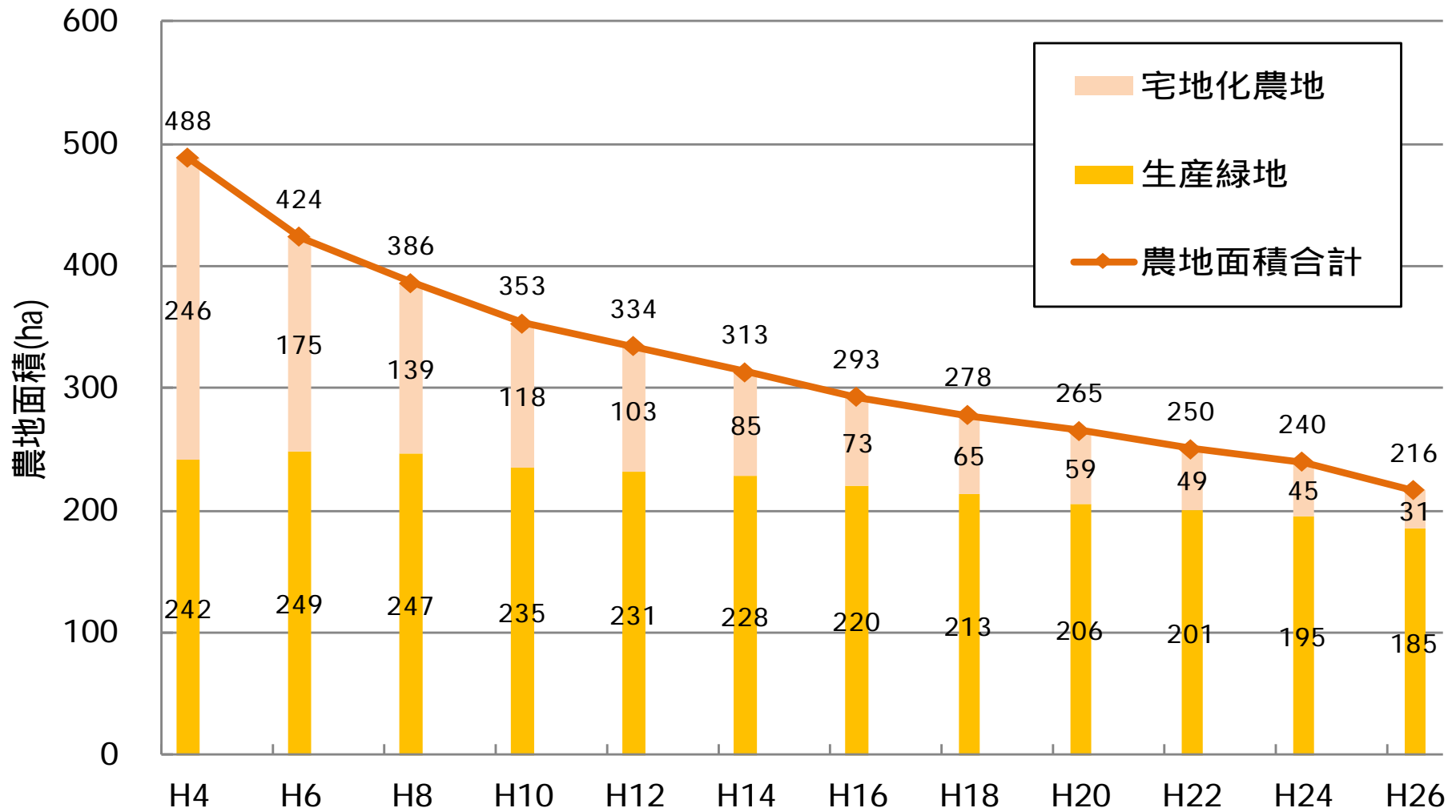


平成18年度から平成23年度にかけて、公園、道路河川等公共のみどりの割合は、増加している。

練馬区の公園面積の推移・予測



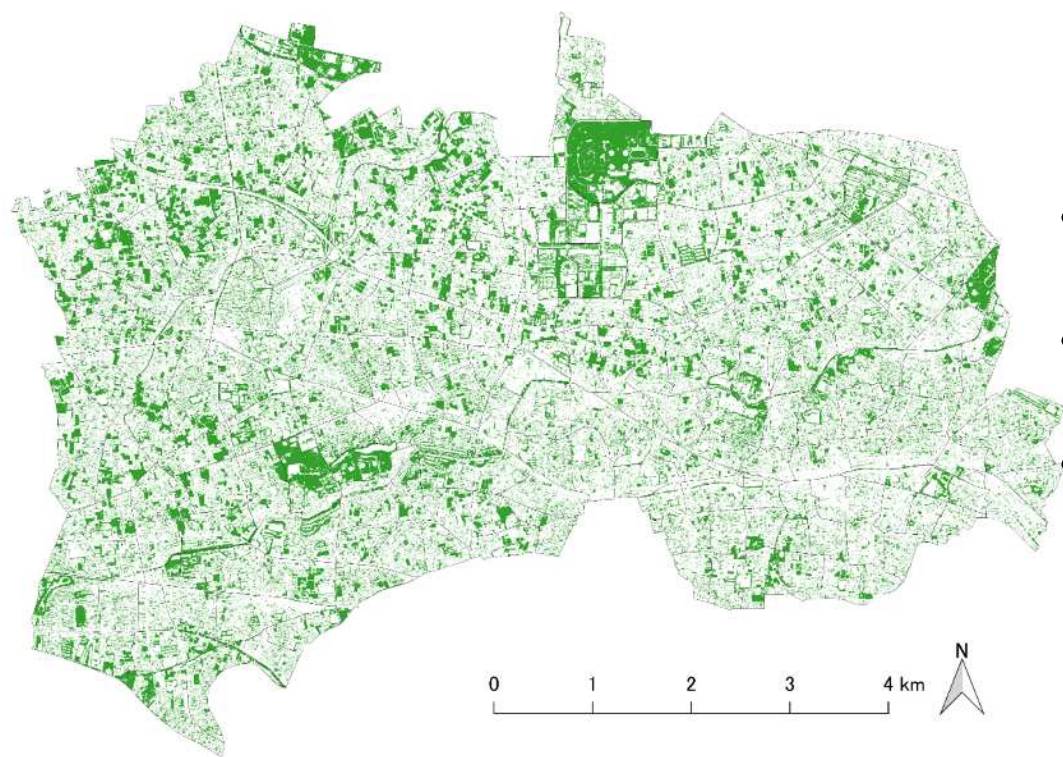
練馬区の農地面積の推移



緑被率にカウントされている内容

• 緑被率（％）

$$= \text{緑被地面積} \div \text{区全体面積} \times 100$$



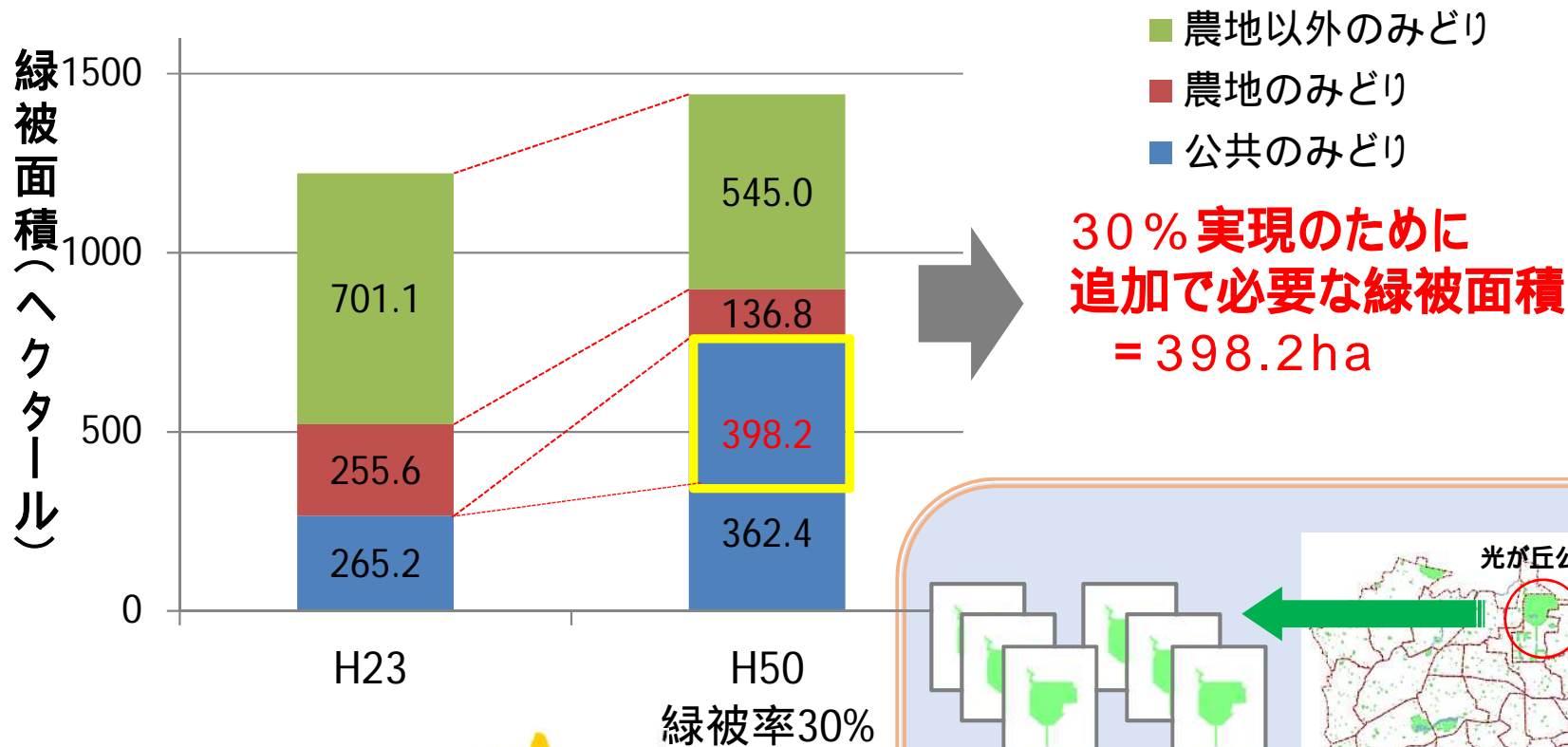
【緑被の内容】

- 樹木地
- 雑草地
- 農地

公園のみどりも
農地も、全部
同じみどりでい
いのかな？



緑被率30%を達成するためには



光が丘公園
練馬区

398haという面積は・・・
「区の面積の約1/12」
「光が丘公園6.5個分」に相当

緑被率30%を達成するためには

例えば、398.2haの緑被面積を全て公園で確保する場合

必要な面積

・公園の緑被率約73% 545.5ha
↓
H50までの減少予測分農地82.1ha
残りは宅地 463.4ha

農地82.1ha
+
宅地463.4ha
(約32,000戸相当)

H28公園現況
207.4ha
と合計すると
公園面積
約10.5m²/人

必要な予算

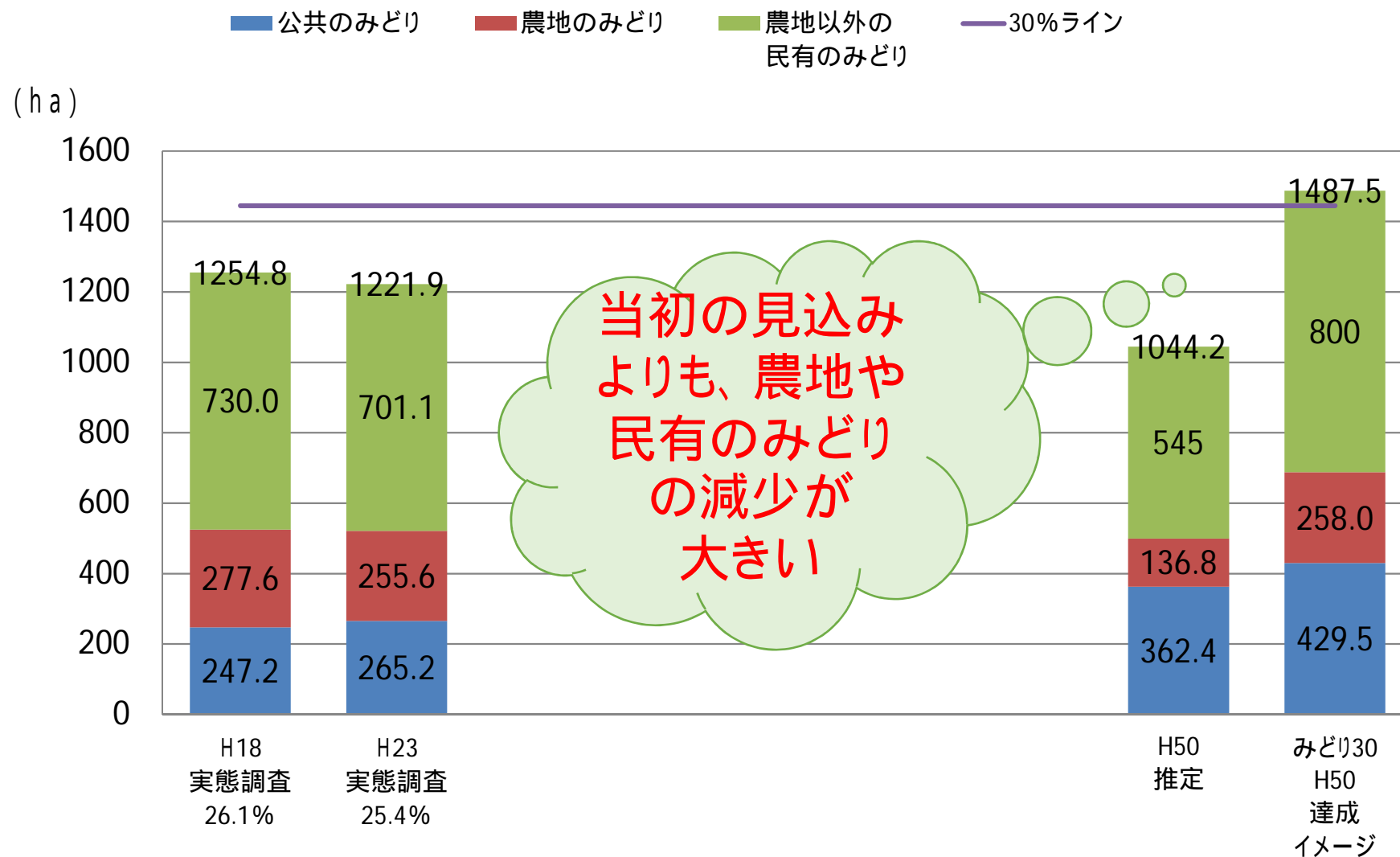
・公園用地費 @351,800 × 545.5ha 1兆9191億円(総額)
区平均公示価格(住宅地351,800円/m²)

H28区一般会計
予算約2,599億円の
約1/4

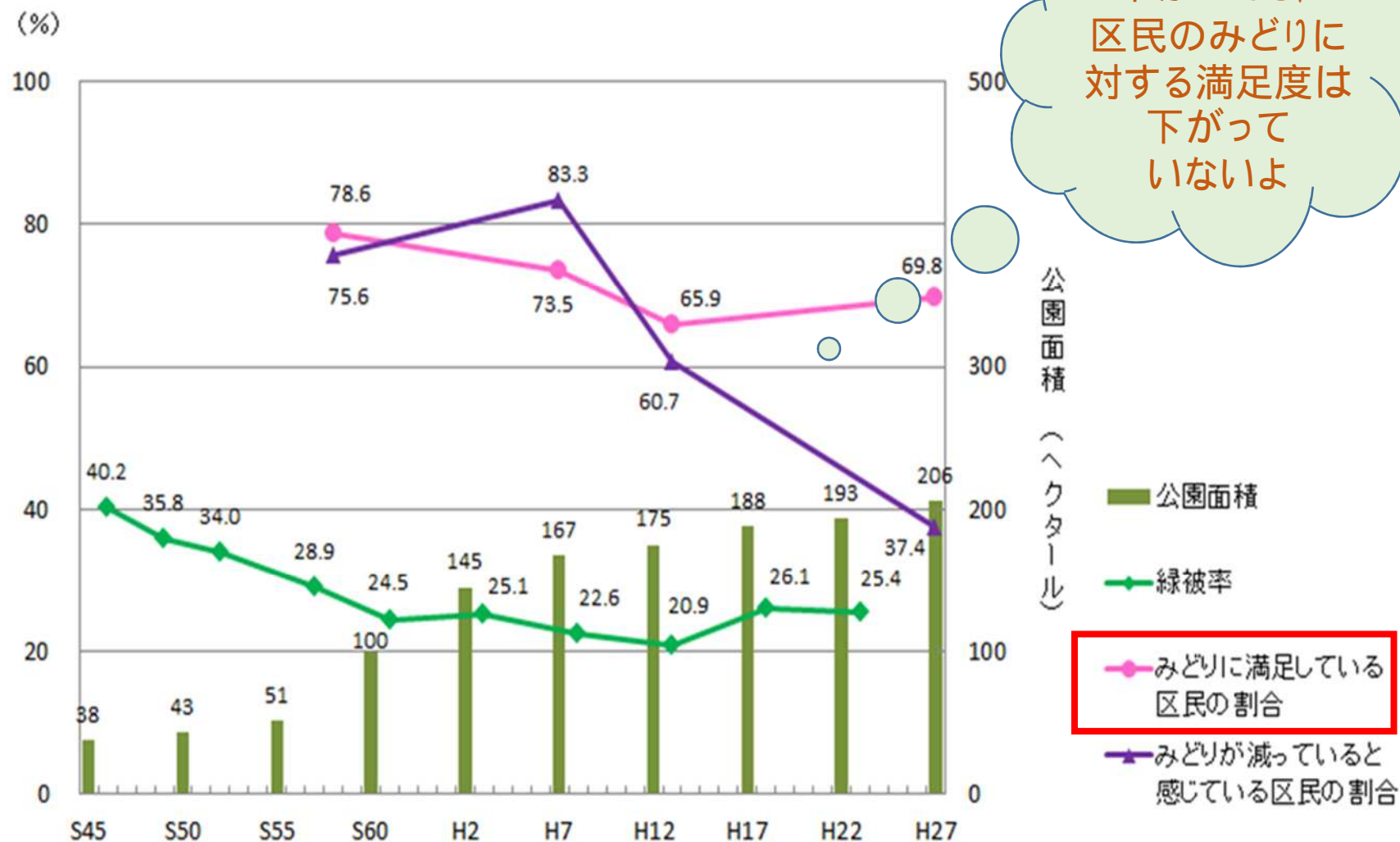
区民1人あたり年間
10万円の負担増

**年間711億円の用地費が
約20年間ずっと必要になる！**

緑被率30%設定時のイメージ



区民満足度と緑被率の推移



緑被率が下がっても、区民のみどりに対する満足度は下がっていないよ

緑被率という目標だけでよいのだろうか？

これからの都市のみどり / 国の方向性

「(省略) 緑の量の増加が緑の機能増大に単純につながるわけではない。

また、一人あたりの公園面積は、人口増加中であれば指標として有効な側面もあるが、人口が減少すれば自然に増えるため、指標として限界がきているともいえる。」

出典:「これからの社会を支える都市緑地計画の展望 人口減少や都市の縮退等に対応した緑の基本計画の方法論に関する研究報告書」(平成28年6月、国土技術政策総合研究所) p.23「現在の指標の課題」より)



民有緑地を使ったカシニワ制度(柏市)



公園を使った健康増進活動(横浜市)

都市の社会的課題

急激な人口減少 / 少子高齢化

自然災害リスクの高まり

地球環境問題の深刻化

都市間競争などグローバル化の進展



課題解決

緑の多機能性

- ・ 環境共生社会
- ・ 安全安心の確保
- ・ 地域コミュニティの醸成
- ・ 健康福祉の向上
- ・ 経済・活力の維持

みどりの将来像と目標設定について



みなさんは、

◆ 将来、どのようなみどりがあればよいと思いますか？【みどりの将来像について】

また、

◆ どのような目標があればよいと思いますか？【みどりの目標について】

参考：区の公園維持管理費用の推移

